

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第18週(4月27日~5月3日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	16週	17週	18週	18週	18週
インフルエンザ	0.33	0	0	0.16	0.41
新型コロナウイルス感染症	2.00	0.67	1.33	0.16	0.59
RSウイルス感染症	0.50	0.50	1.00	1.32	0.44
咽頭結膜熱	●6.50	●7.50	●8.00	0.90	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	5.00	0.50	4.03	3.21
感染性胃腸炎	5.00	2.00	4.00	3.65	4.94
水痘	0	0	0	0.81	0.38
手足口病	0	0	0	0.48	0.38
伝染性紅斑	1.00	1.50	1.50	0.23	0.07
突発性発疹	0	0	0	0.29	0.33
ヘルパンギーナ	1.50	0	0	0.10	0.09
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.10	0.04
急性出血性結膜炎				0.13	0.01
流行性角結膜炎				0.63	0.38
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0.18
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0.08	0.08
急性呼吸器感染症(ARI)	25.00	22.00	30.00	60.20	57.69

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 国内で麻しんの報告が増加しています。

長崎県内では、2026年第13週、第16週に各1例の報告がありました。全国的にも麻しんの報告が増加しています。手洗い・マスクのみで予防はできず、ワクチン接種が最も有効な予防法です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は確実にワクチンを接種しましょう。また、海外では麻しんの流行が報告されている地域もあるため、海外渡航を計画している方は、ワクチン接種が済んでいるか確認し、ワクチン接種を検討しましょう。

発熱や咳・鼻水・目の充血などの風邪のような症状が現れ、麻しんが疑われる場合には、医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え、指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。また、公共の場の利用につきましても、可能な範囲でお控えくださいますようお願いいたします。

【トピックス】 マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう。

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。春から秋(3月から11月)にかけてはマダニ等の活動が活発になり、これらの感染症のリスクが高まります。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。

長崎県感染症発生動向調査速報(月報)

2026年4月 2026年4月1日(水)～2026年4月30日(木) 2026年5月11日作成

☆疾病別・保健所管内別発生状況 (2026年4月)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										計
	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬	
性器クラミジア感染症 (定点当たり報告数)	9 4.50	11 3.67	- -	1 1.00	2 1.00	1 1.00	2 2.00	- -	- -	- -	26 2.60
性器ヘルペスウイルス感染症 (定点当たり報告数)	1 0.50	3 1.00	- -	2 2.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	- -	- -	- -	6 0.60
尖圭コンジローマ (定点当たり報告数)	0 0.00	1 0.33	- -	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	- -	- -	- -	1 0.10
淋菌感染症 (定点当たり報告数)	5 2.50	2 0.67	- -	0 0.00	2 1.00	1 1.00	1 1.00	- -	- -	- -	11 1.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (定点当たり報告数)	3 3.00	8 2.67	1 1.00	1 1.00	13 13.00	1 1.00	0 0.00	4 4.00	0 0.00	14 14.00	45 3.75
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (定点当たり報告数)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 2.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.17
薬剤耐性緑膿菌感染症※ (定点当たり報告数)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

※2026年4月5日までの報告。4月6日以降は「多剤耐性緑膿菌感染症」として全数報告対象

☆7疾患のグラフ

